

令和5年度 第1回「甲府市中小企業・小規模企業振興推進委員会」議事録要旨

日 時 令和5年7月18日（火） 14時00分～15時30分

場 所 甲府市役所本庁舎7階 7-2会議室

出席委員 西久保浩二委員長、田中由美副委員長、吾妻修治委員、飯島司委員、河野嘉孝委員、鶴田篤委員、内藤恵一委員、濱田哲一委員、平岡浩委員、豊前貴子委員、村松晴己委員

事務局 山本産業部長、近藤商工観光室長、萩原商工課長、樋田商工課課長補佐、矢崎商工課課長補佐、土屋中心市街地振興課係長、市川商工課主事

次 第

1 甲府市中小企業・小規模企業振興推進委員会

(1) 開会

(2) 委員等紹介

(3) 議事

ア 役員の選出

イ 委員会の概要とこれまでの取組について

ウ これからの委員会の取組について

エ その他

(4) 閉会

(3) 議 事

イ 委員会の概要とこれまでの取組について

事務局より、資料1『令和5年度 甲府市中小企業・小規模企業振興推進委員会「委員会の概要について」』、「甲府市中小企業・小規模企業振興条例」「甲府市商工業振興行動計画」、資料2「既存事業の実績」と資料3「甲府市商工業振興行動計画の体系図」に基づき、説明。

○委員からの意見等

(委員長) 事務局から、委員会の概要と前期までの取組についてご説明いただいたが、何かご意見・ご質問はあるか。

コロナに関する事業は多く実施されているが、今後は実施しないという方向なのか。継続する方向なのか。

(事務局) 今後は、コロナ対策というよりも、物価高騰対策としての事業を取り組んでいきたいと考えている。現在も物価高騰に関する事業を実施しており、後ほど説明をさせて

いただく。

(委員) ポイント還元については、すべて市の財源で行っているのか。

(事務局) 財源としては、国からの臨時交付金を使って実施している。

(委員長) 資料3の(新)の事業については、現在取組中ということによいか。

(事務局) 現在取り組んでいるものもあれば、来年度に向けて検討しているものもあるため、委員の皆様の意見も聞いた上で、今後、進めていきたいと考えている。

(副委員長) 細かいところまで事業が展開されているなど感じる。資材の高騰や人手不足を考慮したものができてくるとよいのではないか。

ウ これからの委員会の取組について

事務局より、資料4「これからの委員会の取組について」と「KOFU NEXT ACTION (概要版)」に基づき、説明。

(委員長) これからの委員会の取組について、何かご意見等ありましたら、お願いしたい。実際に動いている行動計画について、今年度は人材の育成と確保について議論していくこととしているが、間違いはないか。

(事務局) それで間違いはない。

(委員) 前回も委員会に参加しており、前回も長い期間「人材の育成と確保」について議論をしたような覚えがある。それよりも「ウィズコロナ等への対応」を令和6年度ではなく、先に議論していく必要があるのではないかと考える。

また、新しい「中心市街地の活性化」についても、個人的には早い段階で議論をしたいと考えるがどうか。

(事務局) 今回のスケジュールの案についてもご意見をいただきたいと考えていたので、いただいたご意見を基に、適宜変更を加えたいと考えている。

(委員長) 緊急性が高いものについて、優先的にやる方がよいのではないか。

(事務局) 人材の育成と確保について、事業が多く設定されているため、先にやるのがいいと考えた。また、1回の委員会でテーマを1つに絞った方が、議論がしやすいと考えたためである。

(委員長) テーマは2つまでであれば、議論できるのではないか。

(事務局) 仮に設定したスケジュールのため、調整は可能である。

委員から意見をいただいたので、次回の委員会に向けて、議論のテーマの設定を、この場でできればと考える。

(委員長) 委員としては、ウィズコロナ等への対応を先にやる方がいいという意見で問題ないか。

(委員) ウィズコロナについては、先にやる方がいいと思う。

(委員長) 異論がなければ、感染への対応ではなく、物価高騰への対応としての「ウィズコロナ等への対応」と「人材の育成と確保」をテーマに議論するということでよいか。

(事務局) 次回はその内容で修正をさせていただく。

(委員長) 3回目も2回目の委員会の終わりに、また決める形でもいいのではないか。
ウィズコロナへの対応が落ち着けば、財政的にも余裕ができるのか。

(事務局) 令和2年度以降はコロナへの対応に追われていたが、条例に基づく施策も重要であるので、2本立てで事業を実施していきたいと考える。

(委員) コロナ関連の事業について、国からの支援がないと実施できない状況なのか。

(事務局) 経済対策・事業者支援について、国からの支援のおかげで実施できているものもある。特に消費喚起策については、国からの支援がないと難しいところがある。

イ その他 (今後の流れ)

事務局より、今後のスケジュールについて説明を行った。

(委員長) 以上で議事を終了します。ありがとうございました。

以 上